檜枝岐村総合戦略改訂版・初版対照表

大項目	中項目	小項目	頁	改訂版（H29.2） 内容	初版（H28.2） 内容
4．檜枝岐村総合戦略	4.2　地方創生を推進するための「観光戦略」と5つの柱	観光戦略の評価（重要業績評価指標：KPI）	9	小さな拠点の形成数 　基準値　３箇所 　重要業績評価指標（KPI）　５箇所	（追加）
				<小さな拠点の形成数> 　〇基準値：３箇所（平成２６年度） 　〇ＫＰＩ：５箇所	（追加）
	4.3　5つの柱における施策	4.3.1　柱Ⅰ　観光 1）基本目標 ①通過点から滞留地点、滞在地点への成長	10	来訪者の多くは尾瀬国立公園などの自然環境を目的として村を訪れているため、村を通過しているのが現状です。自然環境だけではなく様々なイベントの開催や交流も含めた誘客に注力するとともに、観光拠点や地域交流及び生活サービスを集約した拠点を整備した「小さな拠点」を形成し、来訪者の満足度を向上させ、通過地点から滞留地点に、さらには滞在地点に成長することで経済効果の創出を目指します。	来訪者の多くは尾瀬国立公園などの自然環境を目的として村を訪れているため、村を通過しているのが現状です。自然環境だけではなく様々なイベントの開催や交流も含めた誘客に注力するとともに、観光拠点の整備や観光を所轄する組織の創設等により来訪者の満足度を向上させ、通過地点から滞留地点に、さらには滞在地点に成長することで経済効果の創出を目指します。
		2）具体的な施策 i）　誘客の強化	11	〇観光拠点の整備 〇小さな拠点と村めぐりの仕組みづくり 〇イベントの見直し、冬季観光の充実、新たな観光商品の開発 〇情報発信の強化、パンフレット作成、Wi-Fi整備、マスコミ関係者との意見交換会の実施 〇地域おこし協力隊の継続的な受け入れと活用	〇観光拠点の整備・村めぐりの仕組みづくり 〇イベントの見直し、冬季観光の充実、新たな観光商品の開発 〇情報発信の強化、パンフレット作成、Wi-Fi整備、マスコミ関係者との意見交換会の実施 〇地域おこし協力隊の継続的な受け入れと活用